

# 全江田島市民に 交通船運賃割引を

上本 一男議員

### 答 効果的な運賃負担感の 軽減策を検討する



**上本** 江田島市民は、広島・呉を生活圏内であると考え、通勤・通学・通院・買い物などで往来している。できるだけ、船便の確保、運賃の値下げはできないか。

**市長** 江田島市を発着とする交通船は、呉行き3航路、広島行き4航路の7航路である。運賃比較で、広島郊外から中心部への料金が440〜480円、切串〜宇品460円、三高〜宇品間680円であるが、他航

路は広島間が1000円近くなる事から割高感があります。平成29年度から通学定期補助で574人に2647万円の公費割引制度を新設したところであり、新たな値下げは、乗降客の減少が進んでいる事から難しいです。

**上本** 中町／宇品航路の乗客の83%が、定期、回数券を購入している。江田島市民の利用者の大半は、最高金額800円(回数券)か、それ以下で利用していることになる。17%の960円利用者のうち江田島市民の証明書があれば、800円で利用できる



吉野 伸康議員

### 答 選択と集中により整備する

**吉野** 市内の道路に急なカーブや狭い箇所が多く見受けられるが、インフラ整備計画の進捗状況は。

**市長** 現在、道路10か所、砂防3か所、の合計17か所の事業に着手しています。

**吉野** 切串西沖棧橋から大須方面に100mの道路が狭く、早急な対策が必要と考えるが。

**市長** 道路管理者である広島県は、用地買収を完了し、今後、工事に着手する予定です。

**吉野** サイクリングコースとなっている大須〜青少年交流の家について、道幅が狭く、交通に危険

を感じるが。

**市長** 幅員4m未満の狭い箇所から順次整備に着手します。

**吉野** 江田島町中央地区の県道下を流れる本浦川の安全対策は。

**市長** この区間は交通量も多く、電話や上下水道等の管路が多敷埋まっております。施工方法を検討した上で、緊急性の高い箇所から修繕します。

**吉野** 平成32年度の三高港ターミナルの完成を見据え、高祖地区バイパス道路改良工事を完成させては。

**市長** 道路管理者である広島県によると計画通り

平成32年度の完成を見込んでいます。

**吉野** 県道飛渡瀬〜秋月線の江南コンビ二付近で進めている道路改良の全体計画は。

**市長** 道路拡幅とバイパスを併用し、幅員10mの道路を約700m整備する予定です。

防災対策について

**吉野** 台風シーズンに備え、市民の生命や財産を守るため、ゲリラ豪雨や高潮対策を徹底する必要があるのでは。

**市長** 災害を防止するための砂防、急傾斜、治山事業等の施設整備と合わせ、防災出前講座などを通じた市民啓発をはか



▲青少年交流の家〜大須の間(急カーブ 狭い箇所)

り、災害に備えた防災意識の向上と注意喚起に努めます。

**吉野** 交通事故のない、災害に強い、安全・安心な住み良いまちづくりを要望します。

ようにならないか瀬戸内シーライン(株)と交渉してみています。

**企画部長** 航路の存続維持範囲の中で話し合いを試みます。

**上本** 中町／宇品航路以外の6航路については、3カ月定期は、1カ月定期の約28カ月分、6カ月定期は1カ月定期の54カ月分で購入できるが、中町／宇品航路の定期だけは、なぜ、3カ月定期は、1カ月定期分×3、6カ月定期は1カ月定期分×6で、全然割引が無いのか。

**企画部長** なぜこのような結果になっているのかわかりません。

**上本** 中町／宇品航路と江田島バスとの接続便が悪いが、解消のめどはあるのか。

**企画部長** この度、呉市役所OBの専門家を雇い、バスのダイヤ改正を考慮しており、船との接続便も考慮します。



**上本** 日中の乗客が少ないうちは割引制度とか、高齢者は半額にするとかの社会実験はできないのか。

**企画部長** 瀬戸内シーライン(株)とできる限りの話し合いを試みます。

**上本** PASSPY(バスपी)導入は、考えているか。

**企画部長** バスピーを導入する方向で考えております。バスのダイヤ改正と同時に、船との接続便の向上に繋がるよう、努力します。



平川 博之議員

### 答 多様な就業機会の確保を支援していく

# 高齢者の社会参加について

**平川** 高齢者の社会参加を促すことにより、地域の活性化に大きくつながると思うが、市としてどのように取り組んでいるのか。

**市長** 高齢者の誰もが、役割を持ち、活躍できる社会をつくるのが求められています。高齢者の方が、健康な生活を送り、健康寿命をはかるためには社会とのつながりを深めることが、一層大切であるとも言われています。本市においても、いきいき百歳体操を実施する「えたじまんのつどい」を中心に介護予防事業を展開し、高齢者の社会参加を進めています。また、高齢者の豊かな知識や経験と能力を十分に発揮できるように、多様な

就業機会の確保を支援したいと考えています。そして、まちづくりの新たな担い手の確保に努め「わくわくする」地域づくりを目指します。

**平川** 高齢者の方が、教育現場などでの活躍はできないか。

**教育次長** 江田島市内の小学校では授業の一環として現在取り組んでいます。また、公民館などでもさまざまな取り組みを実施しています。

**平川** 力ある高齢者が多くいるので、人材バンクのようなものはできないか。

**教育次長** 公民館を窓口として教育現場にも多く

情報提供を行いながら今後も進めていきます。

**市長** このようなことから、定年後も現役で働きたいという高齢者の方が増えています。福祉分野からも地域づくりに対し

積極的に提案することによって「支えられる側」であった人が「支える側」に回ることができ、社会参加の場や就労の場をつくりだしてまいります。



©NEW KOMITTO